































# 経尿道的前立腺切除術を受けられる 様へ

## 目標

○心身ともに安定した状態で手術が受けられ、合併症を起こすことなく早期に退院できる

説明医師

看護師

月日	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )
経過	入院日	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目
目標	○心身ともに安定した状態で手術を受けることができる ○手術に対する不安が最小限である	○手術に伴う苦痛が最小限である ○合併症出現時に早期に対処される	○手術に伴う苦痛が最小限である ○合併症出現時に早期に対処される ○離床がスムーズに行える ○飲水の必要性が理解できる	○手術に伴う苦痛が最小限である ○合併症出現時に早期に対処される ○離床がスムーズに行える ○飲水の必要性が理解できる	○手術に伴う苦痛が最小限である ○合併症出現時に早期に対処される ○尿の管を抜いて自然排尿がある ○尿もれがある場合の対策が理解できる	○次回受診の必要性がわかる ○退院後の日常生活が理解できる ○異常時に早期受診の必要性がわかる	
検査				採血があります 			
食事	21時以降絶食です	絶食です 	術後6時間後より水分可 	朝より食事が食べられます			朝食後、退院となります
処置・観察	体温、脈拍、血圧を測定します  尿量を測ります リストバンドを看護師がつけます(退院日まで装着します)	手術の準備のために浣腸をします  手術室まで看護師が案内します	手術室で手術をします  尿管が入っています  尿管がつまらないように膀胱の中を洗います →症状により中止します 痛み止めの管が入っています	痛み止めの管を止めて様子を見ます 	医師の指示があり、血尿がなければ尿管を抜きます 尿管を抜いたあと、最初の尿を看護師が確認します 	退院時にリストバンドを外します 	
注射・内服	就寝前に下剤を服用します 希望されれば眠剤をお渡しします 	手術室で抗生物質の点滴を行います 	大きな点滴を4本行います 	抗生物質の点滴を朝と夕に行います  点滴終了後に点滴の針を抜きます  抗生物質と止血剤の内服が始まります 			
行動	制限はありません 	朝、シャワー浴し手術着に着替えてください  	ベッドで安静にしてください  ベッド上で身体を動かすことは可能です 	病棟内を歩行できます  初回の歩行時は看護師が付き添います  看護師が身体を拭きます 		シャワーができます 	退院できます 
説明	医師より説明 入院治療計画と手術について  麻酔科医師より説明 麻酔について  看護師より説明 入院生活と手術前後のスケジュールについて  薬剤師より説明 お薬について 	医師より説明 手術の結果について  看護師より説明 尿管の必要性について  尿意のあるときはお知らせください 痛み止めの使用方法を説明します	看護師より説明 水分摂取と尿もれの対策について 	医師より説明 退院後の治療計画について  看護師より説明 療養生活について  次回受診日 【 月 日 時】			

\*入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。  
\*入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。  
\*この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。  
\*入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。